

【評定】 A:目標を上回る達成 B:目標を達成または概ね達成 C:目標を達成せず D:目標を大きく達成せず

大項目	中項目	小項目	自己評価		学校関係者評価		今後の学校改善に向けて	
			小項目評定	中項目評定	中項目評定	意見、提言等		
B 学校教育目標	身体的側面	17 日常的に体力向上、健康の保持増進に向けた取り組みを実践している	A	B	体力テストの結果は深刻であるので、運動の場づくりや逆上がり教室を実施した。「長時間待たせる体育」を改善しようと取り組んでいる。保健便りは毎月発行できたが、計画的な保健指導については課題がある。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上への取組みを期待する ・給食の残飯について、しっかり考えさせる指導をしてほしい ・休み時間に外遊びをするように言ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に向けた取組みを強化する必要があり、運動量を確保するために学年合同体育を極力減らしていく。 ・保健便りの内容を充実したものにし、「ミニ保健指導」にも取り組む。 ・給食の残飯を減らすなど、食育を計画的に実施していく。
		18 保健・安全・食育の指導を適切かつ計画的に実践している	C					
		19 楽しく汗をかく体育の授業を実施し、「これだけは目標」が達成できた	B					
	知的側面	20 確かな学力を支える学習ルールづくりやきめ細かな指導を行っている	A	B	「坂本っ子の学習」や算数の指導法など全校で取り組んでいるが、学級による差も見られる。学年が上がると崩れていく形が崩れて、指導しにくくなっている。授業以外にエネルギーが必要となっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の指導力がさらに高まる努力をしてほしい ・先生にゆとりがある、楽しい授業になるように ・家庭学習の大切さを「手引き」をもとに保護者に強くアピールする 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ルールの指導については、学級により差がある。組織として意志統一して取り組む機会を設ける。 ・校内研究を通して、原点に立ち戻って授業改善を実施していく。
		21 楽しく力を付けるなど、授業改善に取り組んでいる	B					
		22 国語・算数などの「これだけは目標」が達成できた	C					
	情意的側面	23 粘り強く取り組む場面を意図的に設け、励まし称賞している	B	B	人権に関する作品づくりや人権擁護委員による授業を通して、人権意識を高める取組みを行った。マラソン大会やなわとび検定表など学習カードが子どもの励みになっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの心に残り、思いやりや優しい心が芽生える人権意識の向上になる学習を企画してほしい ・様々な職業の人を講師に迎えて、心に残る授業をしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合」のカリキュラムを全校的に見直す。 ・読み聞かせや紙芝居などにより、心に響く授業を月1回程度実施する。
		24 心に響き、生き方を考える授業を推進している	C					
		25 ともに育つ人権教育を、計画的に実施している	B					
	社会的側面	26 基本的な生活習慣の定着を図るとともに、ルール守って生活するよう指導している	A	B	縦割り活動が定着し、異年齢間の交流もできてきた。学級での子どもの様子が保護者に伝わっていないことも多く、社会的判断力をつけていくための共通実践力も弱くなっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守れない児童には徹底した指導を求めます ・家庭に対してしっかりと学校の方針を知らせて共通理解とその実践を要請する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級での話し合い活動を充実させる。 ・ルールを守らない子どもには、どの教師も毅然と指導していく。
		27 いじめなどのない、楽しい学校生活が送れるよう指導している	B					
		28 異年齢のふれあい活動を取り入れている	B					
C 学校経営全般	生徒指導	29 個に応じたきめ細かな生徒指導・教育相談体制を確立し、組織的に推進している	A	B	個々の状況に応じて組織的に対応できているが、学級集団としての力が弱いため、自己指導力を高めることが十分できていない。教師間の共通理解や共通実践が甘くなっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生どうしの横のつながりにより、いろんな角度で子どもを捉えてほしい ・先生は常に明るくあいさつを ・地域の人や保護者と連携して頑張してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活を一体化した集団の秩序を守る取り組みは崩してはいけない。 ・自己指導力を高める授業を各学年で仕組んでいく。
		30 子どもの自己指導力(*1)を育成し、高め合う集団づくりを行っている	C					
		31 地域関係者・関係機関等と、臨機に連携している	B					
	保健・安全	32 危機管理マニュアルの周知を徹底している	B	A	地域関係者と連携した日常のバトロールや安全対策のおかげで、大きな事故は起こっていない。ケガ等の対応に当たっては、組織として対応している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生による下校指導は無理をせず、地域の人にお願すればよい ・地域の中で子どもが育つことを望んでいます 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校も地域関係者とともに可能な範囲で下校指導を実施していく。 ・インフルエンザ対応については、長期的な取り組みが必要であり、関係機関との連携を強化する。
		33 ケガや体調不良に、適切に対応している	A					
		34 教員、地域関係者、保護者による登下校時安全バトロールを実施している	A					
	職員研修	35 研究テーマに基づき、「できる」「わかる」授業をめざして校内研究を進めている	B	B	どの学年も校内研への取り組みがしっかりなされ、授業力が向上してきた。そのため、全校的に子どもの作文力が伸びてきた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が常にかがやき、元気ある活力が子どもたちに見える授業をお願いしたい ・絵や書写などのコンクールに出展してもらおうと励みになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の教師の「めざす授業」像を確立し、授業改善を続けていく。 ・学級経営案の書式を改善し、めざす子ども像を具体的に明記していく。
36 効果的な研修計画を立案するとともに、切磋琢磨し指導力の向上につとめている		B						
37 教材教具の充実、研修資料の整理等、研修意欲を高める環境を整備している		B						

*1 自己指導力:その時、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定し、そして実行し、責任がとれる能力(滋賀県「学校教育の指針」より)